

Labo News

らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
花車ビル南館 〒450-0002
電話 052-581-1013
FAX 052-586-5680
ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
普通口座731-677
発行人 松本 祐之
編集人 山田 真

No.378 目次

- ◆平成25年度精度保証施設
認証制度について (お知らせ)…………… (2)
- ◆新人教育 (サポート) 研修会報告…………… (3)
- ◆第36回
愛臨技スポーツ大会開催のお知らせ…………… (5)
- ◆平成25年度日臨技中部圏支部
微生物検査研修会のご案内…………… (6)
- ◆平成25年度日臨技中部圏支部
生物化学分析検査研修会のご案内…………… (7)
- ◆平成25年度日臨技中部圏支部
輸血研修会のご案内…………… (7)
- ◆臨技生涯教育認定登録団体
研究会のご案内…………… (7)
- ◆講演会・基礎講座…………… (7)
- ◆研究会…………… (9)
- ◆平成26年度愛知県がんセンター
技師研修生募集要項…………… (10)

日臨技状況報告

日臨技理事 中井 規隆

日臨技は、昨年度から一般社団法人として新たな歴史が始まりました。新体制での活動も一年が経過し、その中で見えてきた今後の課題を確実に実行していくよう取り組んでいます。現在は先の日臨技総会において示しました平成25年度の新規・重点項目を中心に執行している状況です。

まず組織運営の充実に関しては、事務部門の機能強化が行われ、理事会も隔月の開催となり組織決定の迅速化が図られてきております。また、「第4次マスタープラン策定委員会」の新設、「新生涯教育制度構築検討委員会」の設置予定など事業の推進や個別課題に対し審議、意見集約を図っております。

支部運営の推進においては運用マニュアルの整備がなされ、日臨技ホームページからも情報発信ができるように作業を進めております。また学会ならび論文発表においては「医学研究の利益相反に関する規定」を策定し、次回の日臨技学会からは対応できるよういたします。

学術事業の活性化では、精度保証施設認証の取得を来年度までに1,000施設を目標に活動を進めております。また、学術企画委員会の新規設置により企画立案と共に、支部・都道府県技師会との学術連携の窓口として戦略的な学術事業の展開を図っています。また、「先端的医学技術に関する学術セミナー」「先駆的臨床検査技師研修会 (遺伝子・染色体、超音波、病理)」など将来を見据えた活動も計画されております。

渉外部門では、「検査説明・相談ができる臨床検査技師の育成」のため指導者研修会を開催し、3カ年計画で目標5,000名とし伝達講習により支部・各都道府県に拡げていきます。11月中には日臨技及び各都道府県技師会主催で「健康と検査展」を実施し、厚生労働省の後援を取る予定で動いています。国民に向けては、広報誌の配布などを通じて臨床検査の重要性と臨床検査技師の存在をPRしていきます。

行政に対する働きかけや他団体との連携においては、厚生労働大臣との会談も日臨技として初めて宮島会長が実現し、他団体との連携も精力的に活動しています。

2016年 (平成28年) に神戸にてIFBL学会が開催されますが、今年10月にシンガポールにて開催される第4回アジア医学検査学会への参加も広く募集をしているところです。国際学会を開催する国の検査技師として大いに世界へ羽ばたく機会になればと考えます。

直近では平成25年7月27日に日臨技会館において日臨技理事会が開催されました。詳しい議事内容等は日臨技ホームページの会員専用サイトをご覧くださいと思います。

平成25年度 精度保証施設認証制度について（お知らせ）

日臨技臨床検査データ標準化事業は3,000施設を超す検査室が参加する国家的規模の活動に発展しました。この標準化事業と、全国規模・都道府県単位で実施している精度管理事業とは車の両輪のような関係で相互に補完しあいながら、国民の健康管理・疾病予防に有用な臨床検査の信頼性を保証しています。このような臨床検査データの信頼性を維持管理するために「標準化され、かつ精度が十分保証されていると評価できる施設」に対し精度保証施設として認証する制度が平成22年度に発足し、これまで485施設が認証されました。しかし国民に良質な医療を提供し、また診療報酬収載に反映される活動をするためには、さらなる認証施設数の増加が必要です。

今年度、日臨技は1,000施設を目標に掲げており、愛知県では43施設を目標としていますが、現在のところ20施設しか認証を取得していません。この目標を達成することが、厚労省への保険点数働きかけを後押しします。精度保証認証の取得に向けて皆様のご理解と目標実現へのご協力をお願いいたします。

申請に必要な条件、提出資料等は、日臨技HPトップページの右側【施設認証制度（日臨技精度保証）】からご覧になれますので、まだ申請をしたことのない施設の方は是非一度ご覧いただき、1施設でも多くの申請をお願いいたします。

今年度の精度保証施設認証制度のスケジュールは下記のとおりです。

今年度更新を予定されている施設も同スケジュールにて申請をしてください。

平成25年 9月20日～11月20日：都道府県技師会申請受付期間

平成25年11月21日～12月6日：都道府県技師会審査期間

平成25年12月2日～12月13日：日臨技申請受付期間

平成26年 2月10日～：承認通知・認証料請求書発送（日臨技）

平成26年 3月下旬：認証書発送

問い合わせ先

公益社団法人 愛知県臨床検査技師会

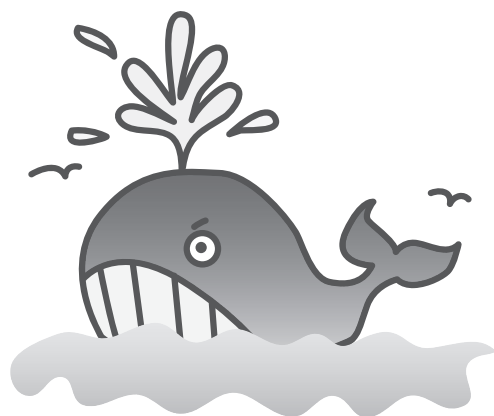
精度管理事業部長 鈴木 博子

春日井市民病院 臨床検査技術室

TEL：0568-57-0057（7310） メール：kensa@hospital.kasugai.aichi.jp

平成25年8月10日現在 会員数2,789名

※求人情報、理事会・常務理事会議事録はホームページを御覧いただくか、事務所へお問合せください。



新人教育(サポート)研修会報告

学術部長 岡田 元

平成25年度学術部検査研究班合同企画による新人教育(サポート)研修会Ⅰ・Ⅱを、6月22日(土)、6月23日(日)と、名古屋大学医学部 基礎医学研究棟4階 第4講義室で開催した。2日間で420名の参加となり昨年の453名より若干少ない参加であった。参加内訳は6月22日(セミナーⅠ):205名(会員155名、非会員47名、学生3名)、6月23日(セミナーⅡ):215名(会員170名、非会員38名、学生7名)の総参加者271名であった。

研修会は緊急検査にポイントを置き、緊急検査関連の生化学・免疫検査について、緊急検査関連の血液検査について、心電図検査の基礎、尿定性検査と髄液検査の基礎、輸血業務の基礎と5つの研究班が講義を担当した。

また組織部企画として医療従事者の接遇基礎(クレーム対応)、学術部企画として愛臨技、研究班の活動について、ランチョンセミナーとしてカラム法の測定原理と判定例、採血ベストプラクティスなどの講義も行われた。

新人教育研修会は緊急検査に特化したレクチャーを行うことを心がけ、新人、担当変更になった技師、ベテランの復習などに役立つ研修を目指して開催している。また一方的なレクチャーではなく、クイズ形式による参加型研修会とすることでポイントを印象づける事も行っている。回を重ねる毎に講義する側も洗練され、良い研修会が開催できるようになってきたと感じていたが、アンケート調査結果では、改善余地があることもわかった。頂いた意見を参考に、理解しやすく、業務に活用できる実践的な研修会の開催を目指したい。また日曜日の1日研修は、お尻が痛くなるほど長時間なので、プログラム自体の見直しも必要と感じている。

緊急検査は患者生命に直結する機会が多い検査業務である。その重要な検査業務を高品質化することは検査技師の使命であるので、来年も多くの会員の方々に参加して頂き、愛知県民の医療に貢献しましょう！

新人サポート研修会に参加して

安城更生病院 牧 明日香

今回、開催された新人教育(サポート)研修会では、当直に関する内容を2日間にわたって勉強しました。検体の取り扱い方などの基礎的な事から、データの見方や臨床への報告方法など、様々なことを学ぶ事ができました。各講義の最後には2択のクイズ形式の問題が出され、復習しながら回答する事で内容がとても記憶に残りました。また検査業務に関する内容以外に、医療従事者の接遇についての講義もしていただき、言葉遣いや気配りの仕方など、すぐにも仕事をする上で取り入れたいと思う内容で非常に勉強になりました。今回学んだ事を今後の業務に生かし、検査技師として成長して行きたいです。



6月22、23日名古屋大学基礎棟で行われたに新人サポート研修会に参加しました。

4月に就職し初めての研修会参加で少し緊張しながら会場へ足を運びましたが、卒業以来会っていなかった大学時代の同級生がいっぱいですぐに緊張が解けました。研修会1日目は緊急検査について生化学・血液ガス・免疫・CBC・凝固の基礎を、2日目は心電図・一般・輸血検査の基礎を学びました。また接遇では実際に起こりうる事例を想定し、どのように行動すればクレームに繋がらないか、クレームを生かすにはどうすれば良いかなどを学びました。ルーチン業務を行っているだけではわからない受診者の気持ちを理解することができたので、受診者と接する生理検査等では、目配りを忘れず受診者からのサインが出る前に行動していきたいと思います。今後も例会・講習会等に積極的に参加し自己研鑽につとめ、また他の職場の人と交流し情報収集していきたいと思います。



社会保険中京病院 高橋 圭司

6月22日(土)から6月23日(日)に名古屋大学医学部基礎研究棟で開催された新人教育(サポート)研修会に参加してきました。研修会では、各分野の基礎的なこと、データの見方、注意点など、様々な事がわかりやすくまとめてあるテキストをいただきました。このテキストを見れば各分野のことを再確認できますので、日直や当直の時には必ず持っていく、悩んだりしたときに役立てていきたいと思います。各研究班の講義は非常にわかりやすく、AかBかで回答するクイズ形式で問題を出していただき、とても記憶に残りました。また、動画を使って説明していただいた講義もあり、検査手順が複雑で難しいと思っていたことが、映像として頭の中に残すことができよかったです。研修会で学んだ基礎を忘れず、これからたくさんの経験を積んでいき、知識のある検査技師を目指していきたいです。

2日目には、「医療従事者の接遇基礎(クレーム対応)」について講義をしていただきました。具体的な事例を使って、ペアになった人とどのようにしてクレーム対応していくのかを考えていく参加型の講義でしたので、態度、動作、目線等、細かいところを医療従事者としてどうしていけば良いのかを学ぶことができました。今後、患者さんと接する際には、今回学んだことを生かしていきたいと思います。

第36回愛臨技スポーツ大会開催のお知らせ

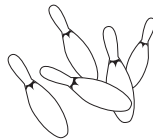
組織部

今年度もスポーツ大会（ボウリング大会）を開催いたします。今年度は公益社団法人認定を記念する大会としました。

大会は例年のごとく地区チーム、研究班チーム、賛助会員チームでの競技を考えております。チーム編成については下記を参照ください。

その後の懇親会への参加もお願いいたします。

★ボウリング大会



日 時：平成25年10月26日（土）
15：00～17：30（表彰式を含む）

場 所：スポーツ名古屋

参 加 費：1,000円

（2ゲーム代・飲物代・靴代・賞品代含む）

チーム編成：

各地区、学部研究班、賛助会員各5名
以上（女性2名以上を含む）

参加申込方法：

施設に配布しました参加申し込み票に記載の上、施設連絡者を通じて各地区理事へお申込みください。学部については各班長が取りまとめください。

締 切 日：平成25年10月4日（金）

大会要綱：ゲーム数は1名2ゲーム

＜団体戦＞各地区、学部研究班、賛助
会員の上位5名（男性3名・女性2名）
だけの合計点数

＜個人戦＞2ゲームの合計点数（男女別）

賞 品：団体戦 上位3チーム

個人戦 男女各上位3名・飛び賞・ブー
ビー賞などの賞品

★懇親会

日 時：平成25年10月26日（土）

18：00～19：30まで

場 所：サッポロビール名古屋ビール園

浩養園2階 レストラン

（元サッポロビール隣）

参 加 費：3,500円

参加申込方法：ボウリング大会同様

締 切 日：ボウリング大会同様

*懇親会のための参加もOKです。ぜひご参加ください。

問合せ先：愛臨技 組織部 大橋 功男

公益財団法人 春日井市健康管理事業団

春日井市健康管理センター

電話：0568-84-3060（内線 324）

ファックス：0568-84-3682

E-mail：runners-high*qa2.so-net.ne.jp

（入力時には*を@に変更してください）

お知らせ

学部部門後期事業日程について

紙面の都合で後期事業日程はホームページをご覧ください。

よろしくお願いします。

お詫びと訂正

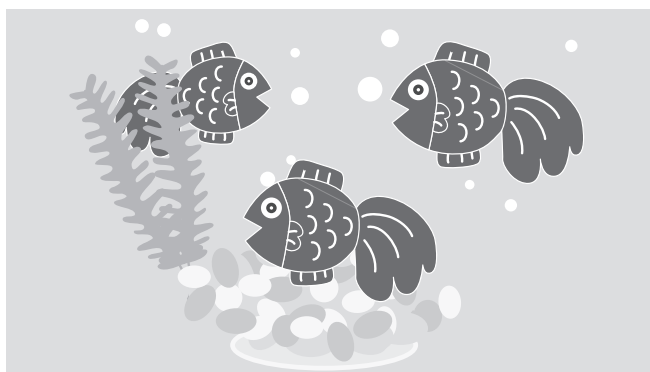
らぼニュース8月号6ページ、益認定記念式典の次第の来賓 祝辞として愛知県知事 大村秀章様となっていますが愛知県健康福祉部健康担当局長 加藤 昌弘様でした。お詫びして訂正いたします。

誤 愛知県知事 大村 秀章

正 愛知県健康福祉部健康担当局長
加藤 昌弘

平成25年度日臨技中部圏支部 微生物検査研修会のご案内

- 【日 時】 平成25年11月3日(日) 10:00～17:00(受付9:30～)
- 【会 場】 講習会:TKP 名古屋栄カンファレンスセンター
〒460-0003 愛知県名古屋市中区栄3-2-3 名古屋日興証券ビル7F
交流会:講習会と同会場にて行います(17:30～19:30)
宿 泊:今年度はなし(開催は1日のみ、宿泊希望者は各自手配をお願いします)
- 【参 加 費】 13,000円[受講料6,500円(テキスト代と昼食代含む)、交流会6,500円]
講義のみ参加 6,500円(テキスト代と昼食代含む)
- 【募集人数】 120名
- 【テ ー マ】 『輸入感染症 –微生物担当者の経験–』
- 【内 容】 特別講演「定期接種化が待たれる任意接種ワクチン–水痘、ムンプス、B型肝炎、ロタウイルス胃腸炎–」
江南厚生病院こども医療センター顧問 尾崎 隆男
グループワーク 実際の輸入感染症ケース(4症例について) 愛知県微生物研究班班員
「輸入感染症4症例のまとめ」
名古屋大学大学院医学系研究科教授 八木 哲也
- 【申込方法】 愛臨技微生物研究班ホームページをご覧ください。
(<http://www.aichi-amt.or.jp/labo/microbio/index.html>)
申込期間 平成25年9月15日～10月20日
- 【問合せ先・事務局】
(平成25年度日臨技・中部圏支部 微生物検査研修会事務局)
〒485-8520 愛知県小牧市常普請1丁目20番地
小牧市民病院 臨床検査科 宮木 祐輝
E-mail: ict@komakihp.gr.jp Tel: 0568-76-4131 (PHS 5298) FAX: 0568-76-4145
(代表)
〒483-8704 愛知県江南市高屋町大松原137番地
JA愛知厚生連江南厚生病院
臨床検査技術科 舟橋 恵二
E-mail: k-funahashi@konan.jaaikosei.or.jp
Tel: 0587-51-3333 (PHS 5109) FAX: 0587-51-3328
- 【主 催】 日本臨床衛生検査技師会中部圏支部
- 【担 当】 愛知県臨床検査技師会 微生物検査研究班



平成25年度日臨技中部圏支部 生物化学分析検査研修会のご案内

日 時：平成25年10月26日(土)～27日(日)
場 所：富山地鉄ビルディング 5階ホール
富山市桜町1-1-36
テ ー マ：疾患ガイドラインを知る
定 員：先着80名
参 加 費：8,000円(テキスト代込)
内 容：脂質異常症、B型肝炎、心疾患などの疾
患ガイドラインについて解り易く解説し
ます。
申込方法：下記の内容をEメールでお送りください。
①所属技師会名と会員番号 ②施設名・
部署 ③氏名(ふりがな) ④連絡先住
所 ⑤電話番号 ⑥連絡先Eメールアドレス ⑦懇親会参加の有無
送 り 先：sawai@koshi-rehabili.or.jp
申込期限：平成25年10月10日(木)
実務担当技師会：富山県臨床検査技師会

平成25年度日臨技中部圏支部 輸血研修会のご案内

日 時：平成25年11月2日(土)～11月3日(日)
場 所：岐阜大学医学部
テ ー マ：輸血療法における安全管理体制の統一化
<まずはここから はじめの一步>
定 員：60名
受 講 料：5,000円
内 容：本研修会は、日本臨床衛生検査技師会の
支部指定講習会として開催されます。輸
血の知識を基礎から深め、日当直時を含
めた安全な輸血業務に従事できる技師を
育成することを目標として、一日目に講
義を二日目に実技講習を行います。申し
込み方法等詳細は、愛臨技および岐臨技
ホームページをご覧ください。

臨技生涯教育認定登録団体研究会のご案内

【東海地区分析研究会講演会】

専門教科：20点
日 時：平成25年10月18日(金) 18:30～20:30
場 所：名古屋マリOTTアソシアホテル 16階
会 費：¥500(会場費として当日受付にて)
講 演 I：「レムナントコレステロールと知動脈エ
コーの相関性」
名古屋第一赤十字病院 検査部
山森 雅大 先生
講 演 II：「臨床検査にモスラ襲来!」
株式会社 免疫生物研究所
木下 憲明 先生
司 会：東海市民病院 山内 昭浩 先生
共 催：東海地区分析研究会
協和メデックス株式会社

講演会

血液検査研究班

専門教科：20点
日 時：平成25年10月19日(土) 15:00～17:00
場 所：名古屋第一赤十字病院 会議室1・2
テ ー マ：多発性骨髄腫と関連検査
講 師：藤田保健衛生大学病院 血液内科
赤塚 美樹
藤田保健衛生大学病院 臨床検査部
宮田 雄次
司 会：小牧市民病院 石井 寿弥

基礎講座

微生物検査研究班

専門教科：20点
日 時：平成25年10月6日(日) 9:00～16:00
場 所：名古屋大学医学部 基礎医学研究棟
テ ー マ：『ビジュアルからみる微生物学的同定検査』
対 象 者：微生物検査経験年数10年未満を目安とし
ます)
担 当：公立陶生病院 西田 祐介
名古屋第二赤十字病院 原 祐樹
愛臨技微生物検査研究班 班員

内 容：午前は実習として、日常検査でよく遭遇する菌を中心に推定同定を行います。午後は解説と講義を行います。これから微生物検査の二級臨床検査士や認定技師を目指す方にもお勧めの講座にしたいと思っております。ご参加お待ちしております。

定 員：50名 受付先着順（※先着順ですので定員を超えた場合は調整させていただきます。申し込まれた方全員に詳細を後日 e-mailにて連絡させていただきます。）

参 加 費：3,000円（弁当・お茶代1,000円を含む）を当日徴収します（県外会員：3,500円、非会員：4,000円）

申込方法：愛臨技微生物検査研究班ホームページにて必要事項を記入し、お申し込み下さい。
(<http://www.aichi-amt.or.jp/lab/microbio/index.html>)

申込期間：平成25年9月10日～9月25日

問合せ先：〒489-8642

愛知県瀬戸市西追分町160番地

公立陶生病院 臨床検査部細菌検査室

西田 祐介 迄

Tel：0561-82-5101（内線3156）

Fax：0561-82-1914

e-mail：strepto@tosei.or.jp

基礎講座

一般検査研究班

専門教科：20点

日 時：平成25年11月10日（日）9：00～16：30

場 所：名古屋市立大学医学部本部棟4Fホール

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

桜通線「桜山」駅下車3番出口よりすぐ

テ ー マ：これだけは押さえておこう、尿沈渣

【午前】

I. 講演

1) 症例から見た尿沈渣

～血球、円柱の鑑別ポイントを中心に～

西知多医療厚生組合 東海市民病院

加藤 節子

2) 異型細胞の鑑別ポイント

～尿沈渣を見る細胞検査士の視点から～

名古屋大学医学部附属病院

岩崎 卓識

3) 尿路結石症に対する診断および内視鏡治療

社会保険中京病院 泌尿器科

石田 昇平

【午後】

II. 尿沈渣鏡検実習

III. グループディスカッション

司 会：名古屋第二赤十字病院

安土みゆき

社会医療法人宏潤会 大同病院

浅井 千春

社会保険中京病院

宮地 英雄

申込方法：下記の申込事項①～⑩について、Eメールでお申込み下さい。

申込事項：①会員番号 ②氏名 ③郵便番号 ④施設住所 ⑤施設名 ⑥所属 ⑦連絡先 TEL（内線） ⑧一般検査経験年数 ⑨認定一般検査技師資格の有無 ⑩弁当希望の有無

申 込 先：E-mail ippanaichi@yahoo.co.jp

連 絡 先：藤田保健衛生大学病院 臨床検査部

作石 敏明

〒470-1192

豊明市杓掛町田楽ヶ窪1番地98

TEL：0562-93-2300

募集人員：60名

参 加 費：2,500円、弁当代1,000円（希望者のみ）
当日徴収

申込期間：平成25年9月16日（月）～10月25日（金）

申込みの受領及び日程の詳細についてはEメールでご連絡します。

*11月2日までに受領メールが届かなかった場合は、上記連絡先まで必ずご連絡ください。（連絡はPM4：00以降にお願いします）

基礎講座

生物化学分析検査研究班

専門教科：20点

日 時：平成25年11月17日（日）10：00～16：00

場 所：刈谷豊田総合病院 診療棟5階

第1～2会議室

刈谷市住吉町5丁目15

テ ー マ：正しく検査する。正しくデータを読む。

講 師：1. 分析テクニック～分析前段階の基礎～
株式会社グッドライフデザイン

佐藤 文明

2. 生化学検査のデータを読む
藤田保健衛生大学病院 齋藤 翠
3. 免疫検査のデータを読む
刈谷豊田総合病院 大島 彩
4. 診療報酬を考える～基礎編～
株式会社BML 名古屋営業所
相河 秀憲
5. Reversed-CPC
刈谷豊田総合病院 腎・膠原病内科
小山 勝志

司 会：安城更生病院 鈴木 美穂
刈谷豊田総合病院 伊藤 英史
内 容：安全・迅速・正確な検査実施に必要な基礎知識（検体採取・測定・結果の解釈）について実例を交えながら解りやすく解説します。

定 員：80名 参加費：1,000円

申込方法：①会員番号 ②氏名 ③施設名 ④所属
⑤連絡先（TEL、FAX） ⑥生化学免疫検査経験年数を記載のうえ、Eメールにてお申込み下さい。
（件名は必ず「基礎講座事前申し込み」としてください。）

申 込 先：藤田保健衛生大学病院 臨床検査部
齋藤 翠 (midori86@fujita-hu.ac.jp)
連絡先 0562-93-2305

申込期限：平成25年10月15日（火）
但し、定員になり次第締め切ります。
*申込の受領および詳細については、10月20日までにEメールで連絡いたします。なお、昼食は各自でご用意下さい。

研 究 会

病理細胞検査研究班

専門教科：20点
日 時：平成25年10月12日（土）15：00～17：00
場 所：豊川市民病院 講堂（5月1日より移転）
（名鉄豊川線八幡駅下車より徒歩5分）
テ ー マ：1. ホルマリンとキシレン対策について
2. 豊川市民病院 臨床検査科の見学
講 師：1. 「環境測定結果の評価方法および作業主任者の選任基準」

株式会社ファルマ 大阪営業部

今西 健二

2. 「ホルマリン・キシレン対策の現状と工夫」について
名古屋市立大学病院 山田 貴之
名古屋第二赤十字病院 長田 裕之
豊川市民病院 都築 菜美
西尾市民病院 中村 広基

司 会：西尾市民病院
内 容：平成24年10月1日より女性労働基準規則の改正により（改正女性則）キシレンに関する法規制が強化されました。今回は環境測定結果の見方や各施設でのホルマリン・キシレン対策について解説いたします。また、今年の5月1日に移転した豊川市民病院 臨床検査科の見学も予定しています。多数の参加をお待ちしています。

研 究 会

生理検査研究班

専門教科：20点
日 時：平成25年10月19日（土）15：00～17：00
場 所：名古屋市立大学
医学研究科・医学部研究棟11階講義室A
テ ー マ：血液ガスの基礎
講 師：1. 「血液ガスのデータの見方・考え方」
ラジオメーター(株) 三沢 泰一
2. 「症例検討－肺機能検査と血液ガス－」
公立陶生病院 臨床検査部
大竹 悦子

司 会：愛知医科大学 中央臨床検査部
井上真由利
内 容：血液ガスの基礎からデータの見方・考え方を勉強します。また、今回は呼吸機能検査と血液ガスに焦点をあてた症例検討を企画しました。

血液ガス検査は生理機能部門だけではなく緊急検査としても当直時に行っていると思います。呼吸機能検査をやっていない方も多数のご参加お待ちしております。

平成26年度愛知県がんセンター 技師研修生募集要項

愛知県がんセンターでは、がん診療に従事する技術者の養成を図るため、下記のとおり平成26年度技師研修生を募集します

募集人員	若干名
研修コース	臨床検査技術コース（細胞検査士）
応募資格	臨床検査技師 平成26年4月1日現在35歳未満の方の内、既に臨床検査技師免許を取得した者または、平成26年度資格取得見込みの者
研修期間	1年間（もしくは2年間）
研 修 費	不要
待遇など	研修奨学金 月額未定（参考：本年度5万円/月） 修了証書 所定の過程を修了したときには修了証書を交付
応募方法	提出書類 ア．研修申込書（当センター所定のもの） イ．技師免許証の写し、卒業証書の写し若しくは卒業見込証明書 ウ．所属長または出身学校長の推薦状（任意の様式） 申し込み締切日 随時受付けております
選考方法	第1次選考（書類審査） 結果通知 平成25年10月3日（木） 第2次選考（面接） 平成25年10月17日（木） 最終合格通知 平成25年11月6日（水）

問い合わせおよび申し込み先

〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号
愛知県がんセンター運用部管理課 総務グループ
(052) 762-6111 内線2212

当センター所定の研修申込書をご希望の方は、80円切手貼付の返信用封筒（宛名明記）を同封の上、郵送にて請求していただくか、当センターホームページからダウンロードしてください。